

ご近所でお花が楽しめるスポット

下のガーデンはどこかわかりますか？
おさんぽバスが市役所に入っていく脇の舗道に沿ってミニガーデン(Open garden ガーデントーククラブ)が作られています。ちょっとメルヘンな感じがほっこりします。



上の写真は、あけぼの歩道橋(東水門にある、市役所側と東野地区を結ぶ歩道橋)です。季節ごとに様々な花が咲き乱れて目を楽しませてくれます。境川の水面が木々の間から見え、心なごむ風景です。



花を咲かせるのは数十年に一度という「アオノリュウゼツラン」が弁天のふれあいの森公園にあるのをごぞんじでしょうか。
メキシコやアメリカ南西部原産の多肉植物で、いまは肉厚で鋭い棘のある大きな葉を見ることができます。今年の夏、花が咲くといいですね。



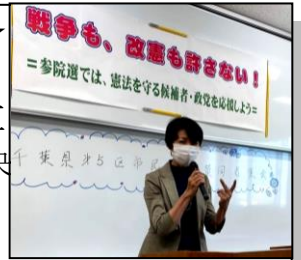
☆みせ麻里市議のかけある記☆

6月4日14時開始〈千葉県第5区市民連合2022年賛同者集会〉が中央公民館にて開催され出席しました。

市民連合は、『憲法を活かし、平和・いのち・くらしを守る政治を—わたしたちは、憲法を守る政党・候補者を応援・支援します—』をスローガンに、5区で2017年4月に発足し、毎月5日に市川か浦安の駅前にてアピール活動も取り組んでいます。

参院選に出馬を表明した日本共産党さいとう和子さんは、6月4日14時から柏駅、16時から市川駅にて田村智子議員との演説会のため集会には参加できず、メッセージを配布いただきました。

日本共産党を代表してみせより「憲法改悪させない野党議員が千葉選挙区から2名必要(写真)、さいとう和子さんへの応援」を訴えました。



【編集後記】

「平和を守る」ということが こんなにむずかしいものであろうか



平和の反対は「戦争？」戦争の道を選ばないことが「平和」である。平和の道？それは自然にあるものではない。ウクライナとロシアの戦いをみていると、それは自然にあるものではない。私たちひとりひとりがつくり、選ぶことなのであろうか。

瀬戸内寂聴さん曰く「いい戦争はない。戦争は絶対やってはいけない」

戦争体験者からは「今の政治家には戦争体験者がいない。岸田首相も安倍元首相も戦争の恐ろしさを知らない。今のウクライナの状況を見ればわかるだろう!!あれが現実なのだ」、一方若者からは「日本に中国・ロシア等が襲ってきたらどう守るの？軍隊や兵器を持たないではダメでしょうが!!」との声。

かつて日本もウクライナとロシアのようなむごたらしい「戦争の惨禍」をひきおこしてきた。中国や東南アジアを侵略し、破壊と殺戮を繰り返し、沖縄戦・広島・長崎の原爆等々、2千数百万人が犠牲になった。戦後「二度と戦争の惨禍を繰り返さない」「戦争をしない国」と重く深い反省のもとに、75年間、今に至るまで守り続けてきた。「戦争する」より「戦争しないこと」「歴史を繰り返さない」……今こそ、このことが平和を守り続けるために、大切に重要なことだと思う。
(東野在住：M・H)

の心配のない平和な地域にしていくための平和外交こそが強く求められています。この平和の地域を作り出していく外交に、最も力を発揮するのが9条です。5月下旬に来日したシンガポールのリー・シェンロン首相は「アジアでは…そもその紛争の危険性を減らすために、トラブルが起きる前に、事前にどう共に仕事をするか【協働するか】を考えるべき」と述べました。日本総合研究所の寺島実郎会長も「二極でなく多国間の安全保障の仕組みに踏み出すべき。二つの選択肢の中で日本が賢くなければ」と語っています。

～俳句コーナー～

☆華やかで
心 和らぐ 牡丹かな
☆隙間なき
隙間に消えし 油虫
☆寝ころべば
風の道あり 夏座敷

(富士見在住：J.S)



9条で日本は守れない？



「力対力」は戦争への道

「9条では日本を守れない」として、自民党は「敵基地攻撃能力」「相手国の指揮系統機能等」まで攻撃する能力を持つべきだと声高に主張しています。

5月23日の日米首脳会談は「力に対して力で対抗する」ことを世界に宣言するものになりました。しかし、「力対力」の先に平和は決して訪れません。世界と地域を分断し、新たな軍事的緊張を作り出し、「軍事対軍事」の危険な悪循環を作り出します。それは戦争に続く道となってしまいます。

憲法9条を生かし、対抗でなく対話と協力の地域の拡大を
今ASEAN(東アジア諸国連合)は、東アジアサミット(EAS)を強化し、この地域を「対話と協力の地域」にして、将来は中国やアメリカ等も含む東アジア規模の友好協力条約を展望しようという壮大な構想—ASEANインド太平洋構想(AOIP)—を明らかにしています。東アジアを戦争